

アルティメットに「目惚れ

「ディスクを追う選手の映像を見て、そのかっこ良さに一目惚れしました」と目を輝かせて話してくれたのは、アルティメット日本代表の中島夏希さん。

高校生の時、体育教師を目指してインターネットで大学を探している中で、アルティメットを知りました。アルティメットチームがある大学に進学し、高校時代にバスケットボールで培った瞬発力、パスをもらう動きなどを活かしながら、技術を磨きました。

日本代表に選ばれたのは、プレーを始めて2年目の大学2年生の時。全国から

集まる約300人の選手の中から、23人という狭き門でした。「緊張でいつもどおりのプレーができるか心配でしたが、大好きなアルティメットを純粹に楽しもうと気持ちを切り替えました」と中島さんは当時を振り返ります。

日常がアルティメット

中島さんは平日、アルティメットの普及に取り組む(株)ULTIMATE PLANNINGに勤務し、スクールの開催、イベント運営などに携わっています。週末は所属チームの練習に参加するなど、アルティメットと触れ合う日々を過ごしています。「幅広い世代にアルティメットの魅

力を発信していくうえで、大学で取得した体育教師の資格が役に立っています」と笑顔で話してくれました。

ディスクで繋がる絆

アルティメットをこよなく愛する中島さんですが、競技から離れてしまったときもあつたそうです。普段は接触の少ないスポーツですが、夢中になってディスクを追いかけているうちに相手選手と激突し、頭から転倒してしまったとのこと。頭痛、めまいなどの症状が出る脳震盪(のうしんどう)を起こし、アルティメットに対する恐怖心が芽生えました。そんな時に支えてくれたのは、同期の仲間であり友人でした。「私のペースに合わせて練習に付き合ってくれたり、純粹に楽しむことを思い出させてくれたりするうちに、恐怖心が和らいでいきました。この時、仲間との強い絆を感じました」と仲間たちに感謝の気持ちを忘れません。

夢はオリンピックの舞台

「私は、人を楽しませることが好きな性格です。周りの人を楽しませ、喜ばせられるようなプレーをしたいです。そして、2028年には、アルティメットがオリンピック競技になる可能性があります。その時には、日の丸を背負ってプレーができるよう努力していきます」。中島さんは今年の夏、日本代表として世界選手権大会に出場します。中島さんの活躍を期待しています。



中島 夏希さん (野出身・23歳)

世界U24アルティメット選手権大会 準優勝
アルティメットの未来を担う



WFDF2022 世界アルティメット
クラブチーム選手権大会

開催期間
7月23日(土)~

開催場所
アメリカ合衆国
オハイオ州



アルティメットの
紹介動画はこちら